



障がい者のための国際シンボルマーク

障がい者が利用できる建物や施設などであることを明確に表すためのマーク



身体障がい者標識

肢体不自由であることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク



耳マーク

聞こえが不自由なことを表すマーク



ほじょ犬マーク

身体障がい者補助犬同伴の啓発のためのマーク

まちで見かける
知っておきたい！

8つの“障がい者のマーク”



聴覚障がい者標識

聴覚障がいであることを理由に免許に条件を付されている方が運転する車に表示するマーク



オストメイトマーク

人工肛門・人工膀胱を造設している人（オストメイト）のための設備があることを表すマーク



盲人のための国際シンボルマーク

視覚障がい者の安全やバリアフリーに考慮された建物、設備、機器などに付けられるマーク



ハート・プラスマーク

身体内部（心臓、呼吸機能、腎臓、膀胱・直腸、小腸、肝臓、免疫機能）に障がいがある人を表すマーク

考えるよう！誰もがいきいき
できる地域づくりとは
今回の特集では、みなさんが障
がいについて「気づき」「考える」
ことを目的としました。障がいに

災害時支援が受けられるように
「視覚障がい者用のビブス」
災害時に視覚障がい者の避難生
活を支援するため、町では視覚障
がい者用のビブスを作成していま
す。視覚障がい1、2級の方が対
象となり、ビブスは福祉避難所に
常備しています。
視覚障がいのある人が、避難場
所などでこのビブスを身につける
ことで、周囲の方の支援を必要と
している目印となり、円滑に必要
な支援が受けられるようになります。
です。



▲「視覚障がい者用のビブス」

も様々な種類や症状の違いがあ
り、外見ではわからない障がいも
あります。
障がいについて正しく理解し、
日常生活や社会活動の中でサポー
トすることにより、障がいのある
人たちの社会参加の機会は広がり
ます。
これを機に、改めて障がいにつ
いて考えてみてください。私たち
が今後どうすればよいのか、「考え
る」ことで社会は変わっていくは
ずです。
誰もが住み慣れた地域で、安心
してその人らしい生活が送れるよ
うな社会を、共につくっていきま
しょう。みなさんの周りで生活し
ている障がいのある人が、少しで
も暮らしやすくなるきっかけにな
ることを願っています。



健康福祉課
主事 備前達也